



尾瀬から考える明日

～尾瀬国立公園における自然保護活動～



1

アジェンダ

- ★尾瀬のご紹介(景色、地理、歴史など)
- ★尾瀬を守る取り組み
 - ・緑を守る: 木道の敷設、湿原回復作業、種子落としマット
 - ・水を守る: 公衆トイレの設置
 - ・空気を守る: 太陽光発電設備の導入
 - ・みんなで守る: 森作りのボランティア
- ★尾瀬から考える明日(ESDの先進地として)
- ★企業の取り組むESD貢献活動(東京電力を例として)




2

尾瀬カレンダー(春)




3

尾瀬カレンダー(夏)




4

尾瀬カレンダー(秋)




5

尾瀬カレンダー(冬)




6

緑を守る～木道の敷設～



尾瀬内の木道総延長65km
東京電力ではそのうち約20kmを敷設
*群馬県 12km 福島県 25km 各関係団体で分担



13

緑を守る～湿原回復作業～



① ミクサスグ種子採取
② 土留め区画設置
③ 雑草作業
④ わらごも敷き
(完成したアヤマ平湿原約1haのうち0.9haを実施)



14

緑を守る～種子落としマットの設置～



外来植物の種子持ち込みを防ぐ種子落としマットを
群馬県側全ての入山口に設置



15

空気を守る～太陽光発電設備の導入～



東電小屋、富士見峠公衆トイレに太陽光発電を導入

東電小屋では山小屋で使用される電気の約2割をまかなう(発電能力9.4kw)、
富士見峠公衆トイレでは使用される全ての電気をまかなう(発電能力4.9kw)



16

水を守る～公衆トイレの設置～

尾瀬には15ヶ所トイレあり。
東京電力でも浄化槽を完備
した公衆トイレを7カ所設置。



17

みんなで守る～ブナ植林ボランティア～

- ・平成9年より開始 5月に第13回を終えた。
- ・これまでに26 Staffに32,500本の苗木を植林。
- ・毎回抽選倍率3～5倍近い応募



18

みんなで守る～下草刈りボランティア～

- ・平成11年夏より、ブナ苗の生長を助けるために必要な下草刈り作業についても、ボランティアを募集して実施。
- ・毎回2日間 約120人の参加者
- ・昨年は120人の募集に500人以上の応募
- ・植林、下草刈りあわせこれまでに延べ約8,200人のボランティアが参加



みんなで守る～グリーンボランティア～



尾瀬に置かれていた
ゴミ箱



グリーンボランティア
参加者用カバン



木道をリサイクルした
マグネット

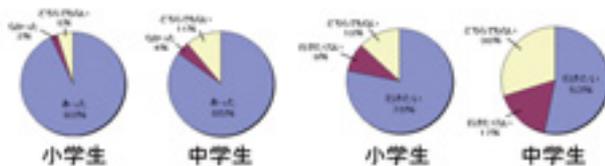


ESDの先進地として(尾瀬学校)

- ＊群馬県「尾瀬学校」:群馬の子供たちが義務教育期間中に一度は尾瀬を訪れ、**質の高い自然体験**をすることにより自然保護の意識を醸成するとともに、**郷土を愛する心**を育むことを目的とする。(2年間で18,500人が参加)

新しい発見や感動

尾瀬にまた行ってみたい



ESDの先進地として(認定ガイド)

- ＊尾瀬認定ガイド:利用者が質の高い自然体験をできることを目的に、尾瀬認定ガイド制度を立ち上げ。

- ・尾瀬の自然、歴史、自然保護活動、救命救急などに関する広範な知識・技術が必要(一認定試験実施)
- ・利用者への啓発(尾瀬の利用上の注意点や尾瀬利用の目的を明確化し、環境教育としての効果を高める)を実施
- ・ガイド1回あたりの人数は15人程度に制限(「尾瀬学校」は8名に1人)



当社の環境・エネルギー教育への貢献(尾瀬)



林間学校などで尾瀬に行く学校を訪問して「出前授業」



尾瀬の自然や保護活動を解説

尾瀬をきっかけとした環境教育のお手伝い

当社の環境・エネルギー教育への貢献

(東京電力自然学校)



当社の環境・エネルギー教育への貢献



<環境・エネルギー分野>

- ★ 次世代層を対象とした「環境・エネルギー講座」(出前授業の実施)
- ★ 教職員を対象とした「環境・エネルギー教育研修会の実施
- ★ 火力発電所等の施設見学会の実施

→ 地球温暖化防止活動環境大臣賞受賞!

尾瀬の魅力をお伝えするために HPI「竹内純子と歩く尾瀬」



<http://www.tepco.co.jp/oz/>

E N D

